

6/21 (日) 戦後70年 語りつがれる戦争の悲劇

太平洋戦争末期の昭和20年6月23日、当時の百里基地から飛び立った、故新本克己さん（当時20歳）が乗る零戦が涸沼川上流でアメリカの戦闘機と交戦し、常井の山中に墜落しました。

21日、元飛行予科練習生や地域の方などがその地に集い慰霊祭が行われました。新本さんの後輩にあたる元予科練習生たちは、「戦時中のことを思い出すと感無量になる。戦争はむなしく、悲しいものであるということをおの人に伝えたい。」と戦没者たちに哀悼の意を表するとともに、戦争の恐ろしさを後世に伝えることの大切さを改めて噛みしめていました。

現地には平成20年に建立された慰霊碑とともに、遺体発見当時に地域の方々が建てた木碑が残っており、70年前の出来事を今に伝えています。



6/17 (水) 人命救助の技を競う大会

県内の消防職員約4,400人から選出された精鋭372人が、住民の生命・身体・財産を守るため日々磨いている救助技術の技を競う、第42回茨城県消防救助技術大会が茨城県立消防学校（長岡）で開催されました。

茨城町からは、地面に倒れている方を高所にロープで引き上げて救助する部門に2チーム10名が参加し、うちBチームが県内各地から参加した32チーム中4位入賞と健闘しました。



5/28 (木) 涸沼自然公園にサクラサク 茨城トヨペット、ソメイヨシノを寄贈

涸沼自然公園に、茨城トヨペットよりソメイヨシノ15本が寄贈され、植樹式が行われました。茨城トヨペットでは「人の心に緑の憩いを」をスローガンに、公園などに植物を寄贈する「ふれあいグリーンキャンペーン」を実施しており、今年で40回目となります。

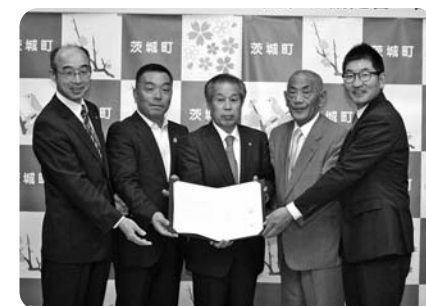
植樹式には茨城トヨペットの幡谷社長、国土緑化推進機構緑の大使で2015ミス・インターナショナル日本代表の中川愛理沙さん、小林町長などが出席。涸沼自然公園「太陽の広場」にソメイヨシノを植樹しました。

涸沼自然公園には、今回寄贈された15本のほか、桜のオーナー制度・花き生産組合などからの寄贈などにより、350本以上の桜が植えられています。アジサイが有名な涸沼自然公園ですが、春にはお花見も楽しめます。



6/5 (金) 連携して就農支援 農大などと協定締結

茨城町は、「新規就農者の確保・育成に関わる協定」を、水戸農業協同組合、県立農業大学校、日本農業実践学園、鯉淵学園農業栄養専門学校と締結しました。



この協定は、農家の高齢化や後継者不足が進展する中、町と水戸農業協同組合そして3校が連携して就農を希望する方への情報提供や研修等の就農支援を進めることにより、次代の担い手を確保・育成し、町農業の生産力の維持・向上を図ることを目的としています。

協定式において小林町長は、「農業は茨城町の基幹産業。現在、農業は厳しい状況にさらされているが、農家を目指す人たちが夢を持てるようにしたい。」と町の農業のさらなる発展に期待を抱きました。

6/22 (月) 親睦を深めるパッチワーク

谷田部区の集落センターにおいて、地域の女性たちが月2回集まり、パッチワークを楽しんでいます。中心となるのは町の教養講座でパッチワークを学んだ照山さんと一澤さん。昨年4月に「いきいきサロン活動」の一環として始まり、現在は14名で会話をしながら制作活動に励んでいるとのこと。

パッチワークとは布片を縫い合わせて大きな布を作る手芸で、参加者は「季節にあわせて爽やかな感じにしたほうがいい」などと意見を言い合いながら、色とりどりの布を縫い合わせてバッグなどを作成しています。

いきいきサロン活動とは、高齢者の引きこもり防止や子育て支援を図りあたたかな環境づくりを目指す、社会福祉協議会が推進する事業です。



6/24 (水) 水族館で親しむ涸沼の生きものたち



涸沼がラムサール条約湿地に登録されたことを記念して、アクアワールド茨城県大洗水族館（大洗町）で涸沼に棲む生きもの達の特別展示がスタートしました。

ハゼやシジミの生体展示やスズガモやヒヌマイトトンボの標本など25種450点が展示されており、その大部分が涸沼産とのこと。

特別展示は概ね1年間にわたって開催する予定とのこと。

6/7 (日) 手作りピザで地域交流 ～赤坂～

赤坂区では、地域の集落センターにおいて、「三世代ふれあいピザまつり」を開催しました。

このイベントには、地域の小学生から高齢者まで約70名が参加。子どもも高齢者も、地域のお母さんたちに教えてもらいながら、生地に好みの具をトッピングし、思い思いにピザを作成。集落センターに設置されたピザ釜で焼き上げ、熱々のピザとご近所同士の交流を楽しみました。

赤坂区の安島区長は「地域の活性化には、高齢者も子どもも集まってくる、そんな場所を作ることが大切だ。」とこのイベントによる地域力の強化に手ごたえを感じていました。

赤坂区では昨年度、「茨城町ふるさと元気づくり推進事業」を活用し、地域の集落センターにピザ釜などを作成。今回は、その施設を使った1回目のイベントでした。

